

厚生労働大臣

殿

開設者名 学校法人 大阪医科
理事長 國澤 隆

大阪医科大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 19 年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照 (様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照 (様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	74 人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照 (様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照 (様式第 13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	348 人	110 人	360.5 人	看護業務補助	90 人	診療エックス線技師	人
歯科医師	10 人	12 人	12.7 人	理学療法士	16 人	臨床検査技師	57 人
薬剤師	45 人	7 人	48.9 人	作業療法士	6 人	衛生検査技師	人
保健師	1 人	人	1.0 人	視能訓練士	7 人	その他	人
助産師	11 人	3 人	13.2 人	義肢装具士	人	あん摩マッサージ指圧師	人
看護師	730 人	18 人	746.5 人	臨床工学技士	14 人	医療社会事業従事者	4 人
准看護師	8 人	人	8.0 人	栄養士	2 人	その他の技術員	10 人
歯科衛生士	2 人	人	2.0 人	歯科技工士	1 人	事務職員	80 人
管理栄養士	13 人	人	13.0 人	診療放射線技師	43 人	その他の職員	133 人

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めなくて記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	714.9 人	5.8 人	715.0 人
1日当たり平均外来患者数	1,942.9 人	92.0 人	2,035.0 人
1日当たり平均調剤数	入院 626.6 剤	外来 511.8 剤	合計 1,138.4 剤

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数 (毎日の 24 時現在の在院患者数の合計) を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・ <input type="radio"/> 無	人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション	有・ <input type="radio"/> 無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
胎児心超音波検査	有・ <input type="radio"/> 無	人
インプラント義歯	有・ <input type="radio"/> 無	人
顎顔面補綴	有・ <input type="radio"/> 無	人
顎関節症の補綴学的治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
光学印象採得による陶材歯冠修復法	有・ <input type="radio"/> 無	人
経皮的レーザー椎間板減圧術	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定	有・ <input type="radio"/> 無	人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法	有・ <input type="radio"/> 無	人
CTガイド下気管支鏡検査	有・ <input type="radio"/> 無	人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験	有・ <input type="radio"/> 無	人
三次元形状解析による顔面の形態的診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験	<input checked="" type="radio"/> 有・無	16人
子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下肝部分切除術	有・ <input type="radio"/> 無	人
悪性腫瘍に対する陽子線治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	有・ <input type="radio"/> 無	人
成長障害のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術	有・ <input type="radio"/> 無	人
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術	有・ <input type="radio"/> 無	人
声帯内自家側頭筋膜移植術	有・ <input type="radio"/> 無	人
骨髄細胞移植による血管新生療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
ミトコンドリア病のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
鏡視下肩峰下腔徐圧術	有・ <input type="radio"/> 無	人
神経変性疾患のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術	有・ <input type="radio"/> 無	人
重粒子線治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術	有・ <input type="radio"/> 無	人
31P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
神経芽腫のRNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体窒素処理骨移植	有・ <input type="radio"/> 無	人
膝腫瘍に対する腹腔鏡補助下膝切除術	有・ <input type="radio"/> 無	人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・ <input type="radio"/>	人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断	有・ <input type="radio"/>	人
エキシマレーザー冠動脈形成術	有・ <input type="radio"/>	人
活性化Tリンパ球移入療法	有・ <input type="radio"/>	人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/>	人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	有・ <input type="radio"/>	人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有・ <input type="radio"/>	人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	有・ <input type="radio"/>	人
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植	有・ <input type="radio"/>	人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術	有・ <input type="radio"/>	人
ケラチン病の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/>	人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/>	人
末梢血幹細胞による血管再生治療	有・ <input type="radio"/>	人
末梢血単核球移植による血管再生治療	有・ <input type="radio"/>	人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	有・ <input type="radio"/>	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	有・ <input type="radio"/>	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/>	人
超音波骨折治療法	<input checked="" type="radio"/> ・無	0人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテーラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	有・ <input type="radio"/>	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存	有・ <input type="radio"/>	人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	有・ <input type="radio"/>	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	有・ <input type="radio"/>	人
膀胱水圧拡張術	<input checked="" type="radio"/> ・無	0人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	<input checked="" type="radio"/> ・無	0人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・ <input type="radio"/>	人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法	有・ <input type="radio"/>	人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術	有・ <input type="radio"/>	人
腹腔鏡下直腸固定術	有・ <input type="radio"/>	人
骨移動術による関節温存型再建	有・ <input type="radio"/>	人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション	有・ <input type="radio"/>	人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍)	有・ <input type="radio"/>	人
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・ <input type="radio"/>	人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・ <input type="radio"/>	人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断	有・ <input type="radio"/>	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	有・ <input type="radio"/>	人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術	有・ <input type="radio"/>	人
先天性難聴の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/>	人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/>	人
培養細胞による先天性代謝異常診断	有・ <input type="radio"/>	人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術	有・ <input type="radio"/>	人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・ <input type="radio"/>	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
カフェイン併用化学療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
胎児尿路・羊水腔シャント術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
内視鏡下甲状腺がん手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	56人	・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	28人
・多発性硬化症	71人	・ウェゲナー肉芽腫症	10人
・重症筋無力症	96人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	90人
・全身性エリテマトーデス	300人	・多系統萎縮症	0人
・スモン	9人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	1人
・再生不良性貧血	47人	・膿疱性乾癬	0人
・サルコイドーシス	86人	・広範脊柱管狭窄症	5人
・筋萎縮性側索硬化症	47人	・原発性胆汁性肝硬変	66人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	251人	・重症急性膵炎	10人
・特発性血小板減少性紫斑病	98人	・特発性大腿骨頭壊死症	36人
・結節性動脈周囲炎	33人	・混合性結合組織病	46人
・潰瘍性大腸炎	240人	・原発性免疫不全症候群	3人
・大動脈炎症候群	25人	・特発性間質性肺炎	7人
・ビュルガー病	12人	・網膜色素変性症	94人
・天疱瘡	2人	・プリオン病	2人
・脊髄小脳変性症	60人	・原発性肺高血圧症	5人
・クローン病	109人	・神経線維腫症	15人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	5人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・悪性関節リウマチ	17人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0人
・パーキンソン病関連疾患	225人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	2人
・アミロイドーシス	7人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	2人
・後縦靭帯骨化症	11人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・ハンチントン病	1人		

(注) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	1ヵ月に8日程度		
剖検の状況	剖検症例数	36例	剖検率 9.3%

(様式 11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1) 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	19年度配分額	補助元又は委託元
発症直後患者膵組織の解析による劇症1型糖尿病の成因解明	花房俊昭	糖尿病代謝・内分泌内科	2,300,000円	⑩日本学術振興会 委
劇症1型糖尿病の成因解明-モデルマウスを用いた膵島破壊関与分子の解析	今川彰久	糖尿病代謝・内分泌内科	2,500,000円	⑩日本学術振興会 委
劇症1型糖尿病患者血清の解析による新規インスリン様分子の同定	三柴裕子	糖尿病代謝・内分泌内科	2,000,000円	⑩日本学術振興会 委
車椅子エコノミークラス症候群の実態調査とその予防対策	木村文治	神経内科	900,000円	⑩文部科学省研究費 委
単純ヘルペス脳炎の発症における免疫学的検討と炎症機転制御による神経組織保護の研究	中嶋秀人	神経内科	800,000円	⑩文部科学省研究費 委
Lewy小体型認知症からみたParkinson病の再構築	杉野正一	神経内科	1,400,000円	⑩大阪難病研究財団 研究助成 委
抗ds-DNA抗体検査偽陽性患者の臨床像と抗ds-DNA抗体の特徴	武内徹	膠原病内科	500,000円	⑩公益委託 臨床検査医学 研究振興基金 研究奨励金 委
抗TNF療法による血清蛋白の変動のプロテオーム解析	武内徹	膠原病内科	500,000円	⑩日本臨床検査 医学会学術推進 プロジェクト研究 委
生活習慣病としての慢性萎縮性胃炎および胃癌発生におけるアディポネクチンの意義	樋口和秀	消化器内科	2,730,000円	⑩平成19年度科学 研究費補助金 基礎研究(C) 委
ラット慢性腎不全・透析モデルにおける心血管病進展抑制因子の検討-特に内因性心房性利尿ホルモン(ANP)による進展抑制機序について	森龍彦	腎臓内科	500,000円	⑩財団法人 大阪腎臓バンク 委
統合失調症患者におけるサイトカイン遺伝子の単塩多型解析	米田博	精神神経科	1,100,000円	⑩科学研究費補助金 基盤研究(C) 委

うつ病患者における電気けいれん療法の臨床効果とサイトカイン発現量変化に関する研究	西田勇彦	精神神経科	2,500,000円	⑨科学研究費補助金 基盤研究(C) 委
ドーパミンと睡眠-覚醒調節:ドーパミン受容体作動薬により生じる睡眠の脳内機構	吉田祥	精神神経科	2,500,000円	⑨科学研究費補助金 基盤研究(C) 委
統合失調症治療薬による神経保護作用関連物質の変化に関する研究	花岡忠人	精神神経科	500,000円	⑨科学研究費補助金 若手研究(B) 委
進行大腸がんに対する腹腔鏡下手術の根治性に関する比較研究	谷川 允彦	一般・消化器外科	500,000円	⑨厚生労働省科学研究費補助金 委
胃がんに対するリンパ節郭清を伴う腹腔鏡下手術と開腹手術との比較に関する研究	谷川 允彦	一般・消化器外科	1,200,000円	⑨厚生労働省がん研究助成金 委
胃癌化学療法における抗癌剤感受性試験の有用性を検証する多施設共同比較臨床試験	谷川 允彦	一般・消化器外科	700,000円	⑨科学研究費 基盤研究(A)(1) 委
大腸癌における腫瘍特異的なウイルスベクターの開発と遺伝子治療への展開	山本哲久	一般・消化器外科	900,000円	⑨科学研究費補助金 基盤研究C 委
包括的遺伝子解析による膵管内腫瘍性病変から膵癌への進展経路の解明	高折恭一	一般・消化器外科	1,700,000円	⑨科学研究費補助金 基盤研究C 委
膵管内乳頭粘液性腫瘍における分化誘導関連遺伝子の発現解析	日外知行	一般・消化器外科	600,000円	⑨科学研究費補助金 基盤研究C 委
重症肺高血圧症に対する一酸化窒素分泌型人工血管の肺動脈位移植術の基礎的検討	勝間田敬弘	心臓血管外科	2,600,000円	⑨科学研究費補助金 基盤研究C 委
悪性脳腫瘍に対する硼素中性子捕捉療法の標準治療化と新規開発	宮武伸一	脳神経外科	11,440,000円	⑨科学研究費補助 基盤研究B 委
短半減期エリスロポイエチン誘導体と FGF2 を用いた神経再生と神経保護の研究	宮武伸一	脳神経外科	1,000,000円	⑨科学研究費補助金 萌芽研究 委
蛋白質セラピー法とバイオナノカプセルによる持続性脳腫瘍治療薬の開発	宮武伸一	脳神経外科	3,000,000円	⑨科学研究費補助金 厚生労働省科学研究費 委
脳腫瘍の光線力学診断・治療法の最適化:高効率光源の開発と光感受性物質の分布解明	梶本宜永	脳神経外科	1,820,000円	⑨科学研究費補助金 基盤研究(C) 委

脳神経系の生理および病態からみた医用機器開発	梶本宜永	脳神経外科	750,000円	⑧補 医工連携共同研究プロジェクト (大阪医科大学) 委
生活活性を有する吸収性代用硬膜の開発	青木淳	脳神経外科	750,000円	⑧補 医工連携共同研究プロジェクト (大阪医科大学) 委
中性子捕捉療法における硼素化合物包埋リポソームの投与方法としての CED の有用性	川端信司	脳神経外科	1,100,000円	⑧補 科学研究費補助金 若手研究(B) 委
細胞工学、分子生物学的手法を応用した新規 BNCT 用化合物の開発と展望	川端信司	脳神経外科	5,000,000円	⑧補 岡山大学との共同研究プロジェクト (武田記念研究助成金) 委
悪性神経膠腫患者に対するオーダーメイド化学療法の実現を目的とした、抗がん剤感受性関連遺伝子プロモータ領域のメチル化解析-特にテモゾロマイド投与後の再発と DNA 修復酸 O6-methylguanine-DNA methyltransferase (MGMT) の関連について-	野々口直助	脳神経外科	3,000,000円	⑧補 奈良県立医科大学との共同研究プロジェクト (シェリング・プラウ株式会社) 委
神経栄養遺伝子を導入した骨髄細胞移植によるより安全な治療に関する研究	池田直廉	脳神経外科	1,190,000円	⑧補 科学研究費補助金 若手研究(スタートアップ) 委
骨髄細胞および遺伝子治療を用いた血管新生療法の開発	宮武伸一	脳神経外科	2,000,000円	⑧補 共同研究費 (中外製薬株式会社) 委
脳虚血モデルにおけるエリスロポエチンの脳保護作用の検討	野々口直助	脳神経外科	1,450,000円	⑧補 共同研究費 (中外製薬株式会社) 委
修復不能な肩腱板断裂の新たな手術法の開発：骨頭上方移動を制御する肩関節包再建術	三幡輝久	整形外科	1,100,000円	⑧補 科学研究費補助金 若手研究(B) 委
糖尿病モデルマウスの合併症に伴う過酸化脂質障害に関する研究	玉井浩	一般小児科	500,000円	⑧補 科学研究費補助金 基盤研究(C) 委
難治性急性前骨髄性白血病に対する新規レチノイド化合物探索法に関する研究	井上彰子	一般小児科	900,000円	⑧補 科学研究費補助金 若手研究(B) 委
神経芽種株における RXR アゴニストによるアポトーシス誘導機構の解析	井上彰子	一般小児科	300,000円	⑧補 ガン研究助成奨励金 委

文部科学省学術フロンティア研究 心理的問題援助のための包括的情報ネットワークの構築と実践的援助研究	田中英高	発達小児科	600,000円	⑧ 関西大学 委
選択的エストロゲン受容体調節薬の組織特異的な分子制御機構	大道正英	産婦人科	1,000,000円	⑧ 科学研究補助金 萌芽研究 委
プロモーターマイクロアレイを用いた卵巣癌の薬剤耐性化遺伝子の解析	大道正英	産婦人科	2,200,000円	⑧ 科学研究補助金 基盤研究(B) 委
卵巣癌におけるイレッサ、アバスタチンの白金製剤耐性解除の検討	寺井義人	産婦人科	1,100,000円	⑧ 科学研究補助金 基盤研究(C) 委
シスプラチン耐性卵巣癌のイリノテカンによる感受性獲得メカニズム	大道正英	産婦人科	3,618,000円	⑧ 私学補助金 委
婦人科癌における遺伝子多型解析	植田政嗣	産婦人科	1,100,000円	⑧ 科学研究費補助金 基盤研究(C) 委
プロモーターマイクロアレイを用いたトポテカンの分子標的作用の解析	西山浩司	産婦人科	900,000円	⑧ 科学研究補助金 基盤研究(B) 委
慢性肺疾患において宿主生来の免疫が果たす役割についての分子生物学的解析	大植慎也	周産期センター	400,000円	⑧ 科学研究費 若手研究B 委
早期新生児期における酸素毒性・活性酸素傷害に対する耐性と在胎週数との関連について	荻原享	周産期センター	1,800,000円	⑧ 科学研究費補助金 基盤研究(C) 委
網膜・視神経乳頭循環の自動調節能における gap 結合の重要性と糖尿病による変化	杉山哲也	眼科	1,300,000円	⑧ 科学研究費補助金 基盤研究(C) 委
NMDAおよび虚血による緑内障モデルに対するジアゾキサイドの神経保護効果	奥野高司	眼科	1,100,000円	⑧ 科学研究費補助金 若手研究(B) 委
アンジオテンシンII受容体拮抗薬のラット糖尿病モデル(SDTラット)における蛋白糖化最終産物、視機能障害に対する作用	杉山哲也	眼科	448,000円	⑧ 財団法人 大阪アイバンク 委
ミュラー細胞におけるコラーゲン産生と特発性黄半円孔の病態に関する基礎研究	佐藤孝樹	眼科	1,000,000円	⑧ 科学研究補助金 基盤研究(B) 委

頭頸部扁平上皮癌におけるプロスタグランジン代謝及びその受容体と臨床的意義	河田了	耳鼻咽喉科	2,600,000円	⑩科学研究費補助金 基盤研究(C) 委
半規管内リンパ液カルシウムとpHの制御 (半規管内に結石は生じうるか?)	荒木倫利	耳鼻咽喉科	400,000円	⑩科学研究費補助金 基盤研究(C) 委
ヒト中耳換気粘膜再生-乳突蜂巣粘膜培養細胞の確立-	萩森伸一	耳鼻咽喉科	800,000円	⑩科学研究費補助金 基盤研究(C) 委
色素性乾皮症フェノタイプ多様性と酸化的DNA損傷修復能の関連に関する研究	森脇真一	皮膚科	1,800,000円	⑩科学研究費 基盤研究C 委
神経皮膚症候群 色素性乾皮症	森脇真一	皮膚科	1,700,000円	⑩厚生労働省 難治性疾患克服 研究事業 委
前立腺癌骨転移責任遺伝子の同定と組換えHSVによる癌ワクチン治療	勝岡洋治	泌尿器科	1,000,000円	⑩科学研究費補助金 基盤研究(C) 委
新免疫寛容導入法のメトロン遺伝子ゲノム内導入による移植腎永久生着の試み	東 治人	泌尿器科	2,700,000円	⑩科学研究費補助金 基盤研究(B) 委
前立腺癌移転マーカー“GABA”の有用性とSmad7遺伝子導入による治療効果の検討	東 治人	泌尿器科	1,000,000円	⑩がん研究助成 大阪コミュニティ財団 委
アクロメリン酸A誘導体を用いた神経因性疼痛治療薬の開発	南敏明	麻酔科	3,510,000円	⑩平成19年度日本 学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)
三叉神経損傷に対する神経幹細胞移植による治療効果	中井國博	形成外科	800,000円	⑩文部科学省 委
IFN- γ KO マウスでの脱毛とIFN- γ および同種移植による発毛の分子機構の解析	岡田雅	形成外科	700,000円	⑩文部科学省 委
口腔癌に対する硼素中性子捕捉療法の基礎的ならびに臨床的研究	島原政司	歯科口腔外科	1,300,000円	⑩独立行政法人日本学術振興会 委
プロテオーム解析による口腔がん、口腔良性疾患に対する特異性の検証	島原政司	歯科口腔外科	2,000,000円	⑩厚生労働科学補助金(第3次対がん総合戦略研究事業) 委

消化器悪性腫瘍に対する標準的治療のための多施設共同研究	瀧内比呂也	化学療法センター	900,000円	③厚生労働省がん研究助成金 17指-3 委
がんの腹膜播種に対する標準的治療法の確立に関する研究	瀧内比呂也	化学療法センター	1,500,000円	③厚生労働省科学研究費補助金 委
抗原変異インフルエンザウイルス出現の早期発見の決め手	中川俊正	感染対策室	1,600,000円	③科学研究費補助金 基盤研究(C) 委

計 3

合計 66

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2) 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Diabetes Res Clin Pract	A renoprotective effect of low dose losartan in patients with type 2 diabetes	Sawaki H	糖尿病代謝・内分泌内科
Diabetes Res Clin Pract	Insulin administration may trigger pancreatic b cell destruction in patients with type 2 diabetes.	Imagawa A	糖尿病代謝・内分泌内科
Diabetes Res Clin Pract	A case of fulminant type 1 diabetes mellitus after influenza B infection.	Sano H	糖尿病代謝・内分泌内科
糖尿病	劇症1型糖尿病調査研究委員会報告-HLAおよび細小血管合併症について	花房俊昭	糖尿病代謝・内分泌内科
Neurology	:Increased incidence of deep venous thrombosis in ALS.	Kimura F	神経内科
<i>Biochimica et Biophysica Acta</i>	Biological roles of anti-GM1 antibodies in patients with Guillain-Barre syndrome for nerve growth factor signaling.	Tanaka T	神経内科
J Neurol.	Expression of vascular endothelial growth factor by plasma cells in the sclerotic bone lesion of a patient with POEMS syndrome.	Nakajima H	神経内科
Eur Neurol	A chronic progressive case of Enteroviral limbic encephalitis associated with autoantibody to glutamate receptor · 2.	Nakajima H	神経内科
Journal of Rheumatology 35 (2)	Early intervention with cortocosteroids and cyclosporinA and 2-hour postdose blood concentration monitoring improves the prognosis of acute/subacute interstitial pneumonia in dermatomyositis.	小谷卓矢	膠原病内科
Bulletin of the Osaka Medical College	Development of a new contrast endoscopic method with Techno Color blue P	Takeuchi T	消化器内科
J Gastroenterol	Four-year follow-up of the first case of gastroesophageal reflux disease treated with endoluminal gastroplication in Japan	Higuchi K	消化器内科
J Gastroenterol	Feasibility, safety, and efficacy of the Stretta procedure in Japanese patients with gastroesophageal reflux disease: first report from Asia	Higuchi K	消化器内科
Digestive endoscopy	Intraductal ultrasonography of the gallbladder in application of the endoscopic naso-gallbladder drainage	Masuda D	消化器内科
Ann Clin Biochem	Identificaton of L-plastin autoantibody in plasma of patients with non-Hodgkin' s lymphoma using a proteomics-based analysis	Takubo T	血液内科

Leuk Lymphoma	Granulocyte colony-stimulating factor and interleukin-6 production by myelodysplastic syndrome blasts	Kobayashi K	血液内科
Int J Hematol	Endophtalmitis due to <i>Trichosporon beigelii</i> in acute leukemia	Hara S	血液内科
Int J Hematol	Trisomy 21 as the sole acquired karyotypic abnormality in biphenotypic acute leukemia	Oka S	血液内科
Japanese Journal of Clinical Oncology	Risk Factors for Para-aortic Lymph Node Metastasis of Gastric Cancer from a Randomized Controlled Trial of JCOG9501	Nomura E, Tanigawa N.	一般・ 消化器外科
Cancer Chemother Pharmacol	Correlation between thymidylate synthase and dihydropyrimidine dehydrogenase mRNA level and in vitro chemosensitivity to 5-fluorouracil, in relation to differentiation in gastric cancer	Fakhrejehani E, Tanigawa N.	一般・ 消化器外科
Hypertens Res	The significance of chymase in the progression of abdominal aortic aneurysms in dogs.	Furubayashi K	心臓血管外科
Ann Thorac Surg	Successful surgical treatment for dilated cardiomyopathy with cardiac sarcoidosis	Daimon M	心臓血管外科
Kyobu Geka	Successful administration of nifekalant hydrochloride for postoperative junctional ectopic tachycardia in congenital cardiac surgery	Sasaki T	心臓血管外科
J Neurosurg 106 : 1070-1074	Use of 5-aminolevulinic acid in fluorescence-guided resection of meningioma with high reisk of recurrence	Kajimoto Y	脳神経外科
Stroke 38 : 2373-2375	A Randomized Controlled Trial of Hydrocortisone Against Hyponatremia in Patients With Aneurysmal Subarachnoid Hemorrhage.	Katayama Y	脳神経外科
ONCOLOGY REPORTS 18 : 861-866	Boron neutron capture therapy using epithermal neutrons for recurrent cancer in the oral cavity and cervical lymph node metastasis	Ariyoshi Y	歯科口腔外科
CI 研究 29 : 1-8	脳腫瘍に対する新規放射線治療	宮武伸一	脳神経外科
Neurosurgery 61 : 586-595	Vascular endothelial growth factor gene-transferred bone marrow stromal cells engineered with a herpes simplex virus type 1 vector can improve neurological deficits and reduce infarction volume in rat brain ischemia.	Miki Y	脳神経外科
Neurosurgery 61 : 1101-1104	Fluorescence of Non-Neoplastic, Magnetic Resonance Imaging-Enhancing Tissue By 5-Aminolevulinic Acid:Case Report	Miyatake S	脳神経外科

Bulletin of the Osaka Medical College 53 : 133-141	Postischemic Intraventricular Administration of FGF-2-Expressing Adenoviral Vectors Improves Neurological Outcome and Reduces Infarct Volume after Permanent Focal Cerebral Ischemia in Rats	Okuda Y	脳神経外科
Proceeding of 13th European Congress of Neurosurgery Glasgow 2 : 387-393	Effects of the fluorescence-guide surgery with 5-aminolevulinic acid for resection of malignant glioma	Aoki A	脳神経外科
Clinical Neuroscience 25 : 1247-1249	新しい神経疾患治療薬の動き－悪性リンパ腫－	黒岩敏彦	脳神経外科
13th European Congress of Neurosurgery 31-35	Brain Tumor Model of Malignant Meningioma Treated with Boron Neutron Capture Therapy	Iida K	脳神経外科
教育と医学 第55巻4号 P. 60-72	子どもの心身症の成り立ち	田中英高	発達小児科
精神科治療学 第22巻7号 P. 791-800	起立性調節障害 －日本小児心身医学会・小児起立性調節障害ガイドラインを中心に－	田中英高	発達小児科
日本小児科学会雑誌 第112巻1号 P. 94-101	超重症心身障害児の医療的ケアの現状と問題点-全国8府県のアンケート調査-	杉本健郎他	発達小児科
自律神経 第45巻1号 P. 52-64	日本小児心身医学会・起立性調節障害ガイドライン第1版作成の経緯	田中英高他	発達小児科
産婦人科の進歩	妊婦に対する子宮頸部円錐切除症例の臨床的検討	田中良道	産科・内分泌科
Advances in obstetrics and gynecology	Improvement of endometrial thickness by hormone replacement therapy for frozen-thawed embryo transfer with percutaneous absorption estradiol agent in 3cases	Shoko Morishima	産科・内分泌科
Fertil Steril 88 (6), 1703-1705. 2007	Mitochondrial gene expression in granulosa cells of severe endometriosis with in vitro fertilization and embryo transfer.	Y. Yamashita	婦人科・腫瘍科
MEDICAL TORCH 3 (3), 36. 2007	婦人科悪性腫瘍手術における出血に対するタココンプの有用性	寺井 義人	婦人科・腫瘍科
産婦人科の進歩 59 (2), 153. 2007	妊婦に対する子宮頸部円錐切除症例の臨床的検討	田中 良道	婦人科・腫瘍科
あたらしい眼科	結膜囊涙液中の菌量測定法の検討	勝村浩三	眼科
Jpn J Ophthalmol	Vitreous surgery on a patient with macular hole accompanied by myelinated retinal nerve fibers.	南 政宏	眼科

臨床眼科	正常眼圧緑内障に対する塩酸ドネペジルの効果	吉田由紀子	眼科
Experimental Eye Research	Angiotensin II receptor blocker inhibits abnormal accumulation of advanced glycation end products and retinal damage in a rat model of type 2 diabetes.	杉山哲也	眼科
眼科	Ⅱ眼底画像解析 12. 血流測定装置（特に視神経乳頭循環に関して）	杉山哲也	眼科
Experimental Eye Research	Endothelin-1 (ET-) causes death of retinal neurons through activation of nitric oxide synthase (NOS) and production of superoxide anion.	奥 英弘	眼科
Clin Experiment Ophthalmol	Abnormalities of visual-evoked potentials and pupillary light reflexes in a family with autosomal dominant occult macular dystrophy.	奥野高司	眼科
RETINAL CASES & BRIEF REPORTS	SENIOR-LOKEN SYNDROME COMPLICATED WITH SEVERE COATS DISEASE-LIKE EXUDATIVE RETINOPATHY.	佐藤孝樹	眼科
Graefe's Arch Clin Exp Ophthalmol	Plasma endothelin-1 levels depress optic nerve head circulation detected during the glucose tolerance test.	喜田照代	眼科
Acta Oto-Laryngol	Safety and usefulness of an electric knife during surgery for parotid benign tumor: postoperative facial paresis and its risk factors	Kawata R	耳鼻咽喉科学
J Physiol Sci Vol. 57, No. 1 pp. 15-22	Effects of CO ₂ /HCO ₃ ⁻ in Perilymph on the Endocochlear Potential in Guinea Pigs	Nimura Y	耳鼻咽喉科学
Acta Oto-Laryngol	Prognosis for Bell's palsy: a comparison of diabetic and nondiabetic patients	Kanazawa A	耳鼻咽喉科学
Arch Oto-Laryngol Head Neck Surg	Expression of Prostaglandin D ₂ Synthase in Activated Eosinophils in Nasal Polyps	Hyo S	耳鼻咽喉科学
J Physiol Sci Vol. 57, No. 5 pp. 287-298	Physiological Role of L-Type Ca ²⁺ Channels in Marginal Cells in the Stria Vascularis of Guinea Pigs	Inui T	耳鼻咽喉科学
J Derm Sci 50:169-176 2008	Photoaging and DNA repair	Moriwaki S	Dermatology
Visual Dermatology 6:1166-1167 2007	色素性乾皮症	森脇真一	皮膚科
皮膚科診療プラクティス 20:62-69 2007	色素性乾皮症・コケイン症候群の確定診断までの流れ	森脇真一	皮膚科

J Derm Sci 50;169-176 2008 雑誌発表日 H20. 2.	Photoaging and DNA repair	Moriwaki S	Dermatology
Visual Dermatology 6;1166-1167 2007	色素性乾皮症	森脇真一	皮膚科
皮膚科診療プラクティス 20;62-69 2007	色素性乾皮症・コケイン症候群の確定診断までの流れ	森脇真一	皮膚科
Eur. J. Pharmacol. 575: 75-81, 2007.	A synthetic kainoid, (2 <i>S</i> , 3 <i>R</i> , 4 <i>R</i>)-3-carboxymethyl-4-(phenylthio) pyrrolidine-2-carboxylic acid (PSPA-1) serves as a novel anti-allodynic agent for neuropathic pain.	Soen, M. et al.	麻酔科
熱傷 第33巻(3)15-22 (133-140)	同種培養真皮を用いた熱傷および熱傷瘢痕の治療	藤森 靖	形成外科
International Immunology 19(9)1031-1037	Plasmacytoid dendritic cells employ multiple cell adhesion molecules sequentially to interact with high endothelial venule cells—molecular basis of their trafficking to lymph	Matsutani, T	形成外科
厚生労働科学研究費補助金 第3次がん総合戦略研究事業 がん検診に有用な新しい腫瘍マーカーの開発に関する平成19年度総括・分担研究報告書	プロテオーム解析による新しい睥がん血液診断法の有用性を検討する多施設協同研究	島原政司、他	歯科口腔外科
耳鼻咽喉科・頭頸部外科 第79巻5号 17~24頁	リハビリテーション科からみた耳鼻咽喉科疾患. 何が適応となるか.	田中 一成	リハビリテーション科
Journal of interferon and cytokine research 第27巻 10号 835~839頁	Suppression of a Smooth Muscle Actin Expression by Interferon γ in Established Myofibroblast Cell Lines	田中 一成	リハビリテーション科
Journal of Clinical Rehabilitation 第16巻 8号 750~753頁	一過性に左右の逆転視を呈した脳梗塞の1例	田中 一成	リハビリテーション科
The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine 第44巻 5号 280~285頁	Nothnagel 症候群を呈した脳幹梗塞例のリハビリテーション経験	田中 一成	リハビリテーション科
著書 医歯薬出版	「写真で見る基本スプリントの作り方」	田中 一成	リハビリテーション科
リハビリテーション医学 第44巻 9号 495~500頁	専門医制度卒後研修カリキュラムの運用と今後の改定について	山口 淳	リハビリテーション科

リハビリテーション科診療 近畿地方会 7号 20~22頁	回復期リハビリテーション病棟運営における診療報酬制度（平成18年度）への対応策と今後の課題－骨・関節疾患比率の高い1施設調査より－	村尾 浩	リハビリテーション科
Jap J Clin Oncol	Multi-Center Phase II Study for Combination Therapy with Paclitaxel / Doxifluridine to Treat	Takiuchi Hiroya	化学療法センター
Cancer Chemother Pharmacol	A multicenter phase II study of biweekly paclitaxel and S-1 combination chemotherapy for unresectable or recurrent gastric cancer	Takiuchi Hiroya	化学療法センター
Oncology	Phase II Study of a combination of irinotecan and S-1 in patients with advanced gastric cancer	Takiuchi Hiroya	化学療法センター
Gastrointestinal Cancer Research	Thymidylate Synthase Gene Expression in Primary Tumors as Predictive Parameters for the Efficacy of S-1-based Chemotherapy for Advanced Gastric Cancer	Takiuchi Hiroya	化学療法センター
Journal of Virological Methods 148: 269-9	Detection of antigenic variants of the influenza B virus by melting curve analysis with LCGreen.	Toshimasa Nakagawa et al.	感染対策室

計6

合計 78

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る）。
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 花房 俊昭			
管理担当者氏名	診療情報管理室長	米田 博	病院薬剤部長	玉井 浩
	中央放射線部長	鳴海 善文	病院医療相談部長	木下 光雄
	医療安全対策室長	村尾 仁	感染対策室長	中川 俊正
	病院事務部長代理	奥田 敏博	総務部長	三宅 努
	医事課長代理	中谷 尚文	庶務課長	岩橋 朗
	医薬品安全管理者	西原 雅美	医療機器安全管理責任者	岩崎 孝敏

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		庶務課 医事課 診療情報管理室 中央放射線部	年度別に分類している
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務部人事課	
	高度の医療の提供の実績	医事課 診療情報管理室	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	各診療科及び 病院薬剤部	
	高度の医療の研修の実績	各診療科	
	閲覧実績	医事課 診療情報管理室	
	紹介患者に対する医療提供の実績	各診療科	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課及び 病院薬剤部	
確規保則の第9条の23及び第1条の11各号に掲げる体制	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全対策室	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染対策室	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全対策室	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	病院医療相談部及び医療安全対策室	
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全対策室	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全対策室	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全対策室	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全対策室	

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第1条の11各号に掲げる体制確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	感染対策室
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染対策室
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染対策室
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染対策室
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	病院薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	病院薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	病院薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	病院薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	臨床工学室
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学室
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学室
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学室		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 花房 俊昭
閲覧担当者氏名	病院医療相談部長 木下 光雄
閲覧の求めに応じる場所	病院医療相談部

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0 件
閲覧者別	医 師	延	0 件
	歯 科 医 師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	65.3%	算定期間	平成19年4月1日～平成20年3月31日
算出根拠 A: 紹介患者の数			16,106 人
B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数			11,454 人
C: 救急用自動車によって搬入された患者の数			2,448 人
D: 初診の患者の数			34,440 人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
- 2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 9 条の 2 3 及び第 1 条の 1 1 各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (5 名) ・ 無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (4 名) ・ 無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 ・ 無
<p>【医療安全推進部】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 所属職員： 専任 (5) 名 兼任 (13) 名・ 活動の主な内容： <ol style="list-style-type: none">1. 「事故等」事例の発生頻度、事故の損害規模、事故の質等を分析する。2. 安全対策についての問題点を把握し、改善策の企画立案やその実施状況を評価する。3. 安全対策についてマニュアル等の具体的な検討及び見直しをする。4. 医療安全に係わる職員への教育・研修を企画・実施する。5. 感染対策室と密接な連携をとり、院内感染防止に努める。6. 医薬品安全管理責任者と密接な連携をとり、医薬品の安全確保に努める。7. 医療機器安全管理責任者と密接な連携をとり、医療機器の安全使用の確保に努める。 <p>【医療安全対策室】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 所属職員： 専任 (5) 名 兼任 (9) 名・ 活動の主な内容： <ol style="list-style-type: none">1. 安全管理委員会及び事故調査委員会等の委員会の庶務を行う。2. 安全に関する報告書からの情報収集と集計及び分析を行い、関連部署に情報提供する。3. 医療事故発生時の現状確認及び現場の支援を行い、医療安全推進部長に速やかに報告する。4. 医療安全に係る講演会、事例検討会を企画・開催する。5. 安全対策ポケットマニュアルを改訂する。6. 安全対策マニュアル改訂する。7. ニュースレターの発行・配布を行う。8. 病院医療相談部へ情報提供と連携。9. 医療安全に係るメディアからの情報収集及び資料を作成する。10. 医療現場の現状把握や情報収集を目的とした聞き取りや巡回を行う。11. 安全対策に係る活動の必要性が生じた時は、関連部署と連携を図り対応する。	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有 ・ 無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none">・ 指針の主な内容： <ol style="list-style-type: none">1. 医療機関における安全管理に関する基本的考え方2. 医療に係る安全管理のための委員会その他医療機関内の組織に関する基本的事項3. 医療に係る安全管理のための職員研修に関する基本方針4. 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針5. 医療事故等発生時の対応に関する基本方針6. 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針7. その他医療安全の推進のために必要な基本方針	

⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年12回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容：審議事項 1. 医療安全の確保と推進に関すること 2. 医療安全の実施、監査および指導に関すること 3. 医療事故の発生状況についての情報収集、分析に関すること 4. 医療事故に対する予防策、措置に関すること 5. 医療安全に関する教育・研修および啓発に関すること 6. その他の関連事項 	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年4回以上
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： 1. 医療に関する基本的な倫理観や心構えを身に付け、安全に医療を実践するために必要な専門家としての知識や技術を習得し、さらにチームの一員としての意識の向上を図ることを目的とする。 4回／年以上の研修会（事例検討会・講演会を含む）を実施している 2. リスクマネージャーを中心に宿泊研修を実施し、RCA分析の体験とワークショップを行う。 	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関内における事故報告等の整備 （ <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 ） ・ その他の改善のための方策の主な内容： 1. 事故を防止するために、状況に応じ現場巡回し、情報を適切に収集、分析し、必要な対策を企画、実施するとともに有用な情報について、時期を失することなく現場にフィードバックする。 2. 事故等の報告を安全管理委員会で検討・協議を行い、整理分析し再発防止についてリスクマネージャーを通じて医療従事者全員に周知徹底を図る。 3. 患者影響レベル3b以上の全ての重大事例については、事故調査委員会でピアレビューにより過失判定を行う。 4. 検討・協議し決定された方針に基づき、安全管理に関する教育、研修を行い医療安全対策の推進に努める。 5. 事故発生に対する問題点と課題を明確にし、再発防止と安全確保の為の検討を行う、医療改善委員会及びリスクマネージャー会議を設置している。ガイドライン、マニュアルを作成し院内に周知徹底を図る。 6. 医療安全に係るあらゆる情報をニュースレター、ホームページ、伝達会等で提供し、医療安全に対する意識を高め、組織横断的に安全管理の体制確保に努める。 	

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	①・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 院内感染対策に関する基本的な考え方 2. 院内感染対策の為の委員会、その他本院の組織に関する基本的事項 3. 院内感染のための職員研修に関する基本方針 4. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 5. 院内感染発生時の対応に関する基本方針 6. 患者等に対する本指針の閲覧に関する基本方針 7. その他の本院における院内感染対策の推進のために必要な基本方針 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 院内感染の防止に関わる検討課題について審議する 2. 院内感染が発生したときは、速やかに発生の原因を分析し、改善策の立案および実施、ならびに従事者への周知を図る 3. 重要な検討内容について、院内感染発生時および発生が疑われる場合の対応状況を含めて審議する 4. 感染対策についてマニュアル等の検討および見直しをする 5. 感染対策委員会で立案された改善策の実施状況を必要に応じて調査し、見直しを行う 6. 院内感染に関する教育および啓発に関する活動内容について検討する 7. その他、感染対策に関し、活動の必要が生じたときは、関係各署と連携を図り適切に審議する 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年3回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 病棟での集団感染防止対策：ノロウイルス、偽膜性腸炎 2. 標準予防策について 3. Q&Aで学ぶインフルエンザ（初級編） 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (①・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 院内感染情報レポート、ICTニュース、各種委員会、会議を通じて発生状況の報告等を行っている 2. 定期的なサーベイランスおよび病棟巡回を通じて院内感染対策活動の推進および改善を図っている 	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	○・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年52回 【1(全体)+13(病棟カンファ) +38(DI)】
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 安全に係る職員研修（医療安全対策室主催の事例検討会）（H19.9.14） 医薬品安全管理体制の確保について インスリンにまつわる事例 2. 術後疼痛管理（NSAIDの作用機序・副作用、術後疼痛のメカニズム） 3. 経腸栄養剤の種類とその選択 4. 精神神経科で使うお薬の作用と副作用 	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 （ ○・無 ）</p> <p>・ 業務の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医薬品の採用・購入に関する事項 2. 医薬品の管理に関する事項 3. 病棟・各部門への医薬品の供給に関する事項 4. 患者に対する医薬品の使用（処方・調剤・服薬指導など）に関する事項 5. 医薬品情報の収集・管理・提供に関する事項 	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 （ ○・無 ）</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 緊急性に応じて「薬剤部情報」「緊急薬剤部情報」を作成し、院内各部署へ配布。 2. 薬剤部ニュース・学内向けHPにて周知。 	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	○有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年2回以上
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 輸液ポンプ及びシリンジポンプの使用方法和注意点 2. 人工呼吸に関する基礎と人工呼吸器の基本 3. AEDと除細動器について 4. 医療機器に係る事例検討会の実施 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 計画の策定 (○有・無)</p> <p>・ 保守点検の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 特定保守医療機器に対しては、年1回のメーカー点検を実施。(特に生命維持装置) 2. 日常点検・定期(3～6ヶ月)点検に関しては、院内で実施し、記録保管。 3. 放射線治療器に関しては、保守契約により点検がなされている。 	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (○有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療機器安全管理委員会にて、安全使用に関する情報の共有。 2. 臨床工学室ホームページにて、主要機器の取扱い説明書を閲覧可能にした。 	

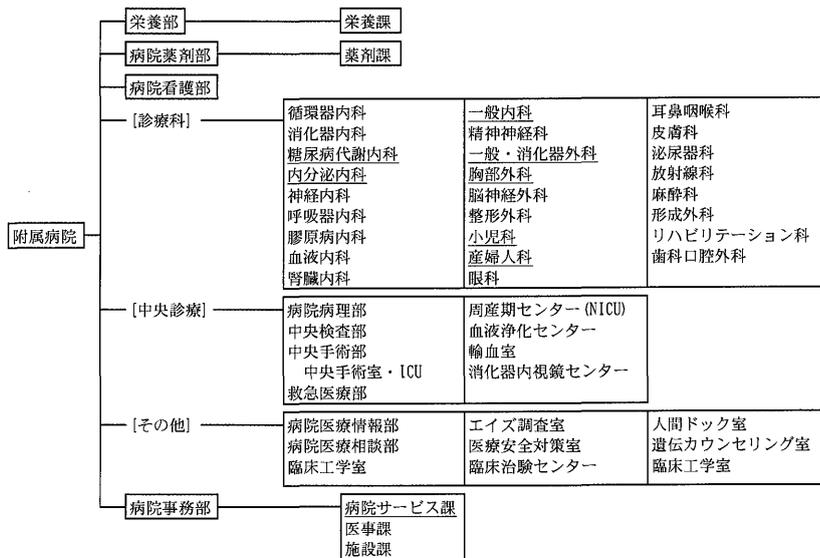
組織変更報告書

大阪医科大学附属病院 特定機能病院承認日 平成6年2月1日

変更点

- 化学療法センター設置（平成15年5月1日）
- 卒後臨床研修センター設置（平成16年1月1日）
- 診療情報管理室設置（平成16年5月1日）
- 病院企画室、感染対策室設置（平成16年6月1日）
- 褥瘡対策室設置（平成16年11月1日）
- 糖尿病代謝内科、内分泌内科を糖尿病代謝・内分泌内科に統合。
一般内科を総合内科に変更。
一般・消化器外科を消化器外科と一般・乳腺・内分泌外科に分割。
胸部外科を心臓血管外科と呼吸器外科に分割。
小児科を一般小児科と発達小児科に分割。
産婦人科を婦人科・腫瘍科と産科・内分泌科に分割。（平成17年10月1日）
- 病院サービス課を庶務課に変更。（平成18年9月1日）
- 医療安全推進部設置（平成19年7月1日）
- 病院医療相談部内に医療連携室・相談課・がん相談支援センター設置（平成19年11月1日）

変更前



変更後

